



夕刊
日五月三十
發行所 小名濱町古池一
電話 小名濱町
電話 四七

輝しき武勳を樹てた 立花中尉歸還

早速遺族慰問

中支の野に幾轉戦武勳を樹る遺族を慰問して慰問したて度度の負傷を負ひ原隊に歸還し療養中であつた小名濱町出身立花中尉は昨日六日は村社鹿島神社に於て名譽除隊を執行する、町民日席温る際も郷土戦死一般の參拜を示達した

小名濱青年幹部會

七日午後六時小學校に

小名濱青年幹部會は七日午後六時より小學校に開催する、来るべき總會への準備であるが一面西山園長の「滿洲視察談」と藤村日素工場の「長期戦に關する講演」の口取等を協議する筈である

若葉會展覽會

入賞者決る
磐城高女校友會主催若葉會第二回展覽會は四、五の両日市内マルモホールに開催、會員の作品百二十點の外、外來品として藝術院會員結城素明氏の作品をはじめ十數點あり入賞者は左記の通り

- ▲若葉會賞 (日本畫) 四年關内義子、宮川芳子、三年田村康子、菊地常子、二年大和田キヨ子、一年正木田ツル子 (洋畫) 四年堀喜代子、三年櫻庭美代
- ▲賞 (日本畫) 四年渡邊セキ子、三森清子、三年關内滿壽子、酒井良子、鯨岡久、菅本幹子、江尻朝子、菊地泰子、櫻井信子、三年石利悦子
- (洋畫) 四年廣瀬登喜子、三年鯨岡久、二年三村敬子、千葉裕子、齋藤マキ子、宮澤チカ子、堀真喜子、堀田悦子、桑原貞子、松崎幸子、富田トシヨ、一年吉田トシヨ、酒田マ

川拂ひ

宮川の

内郷村大字宮地内を流れる宮川は川底高く部落は頻々而降雨の被害に見舞はれるので五日部落及び警隊等から千數百名出役、川床浚漑の勤勞奉仕をなした

小名濱校

珠算競技會

小名濱校では尋四以上生徒各學級二十名を選抜して二月五、六の兩日に涉り競技會を施行する

放毒の結果か?

鯿群の來ないのは

當業者間に疑念は深まる
既に本郡沖合に鯿群の襲來た、昭和八、高萩人組のすべき期節に拘らず、双葉放毒の爲め細細なる鯿群と沖合まで来ては引返すのはしては太に形勢したもので何の爲めか其處に當業者とはなにかと疑念を懐くに至つて、毒素放出量に對して

容疑者檢學

關内氏方荒し

四日未明平市二丁目縣議關内正一氏方二階座敷から鐵翁作の南書の大箱(價格二百圓)外掛物二本、長女ヨシコさんの衣類京人形等合計三百餘圓を窃取した犯人は平署で鋭意搜索中とのこ有力なる容疑者を引致目下嚴重追究中

時局對策協議

高久各種團體
高久村では九日午後一時から同村小學校で愛國婦共の他各種團體聯合幹部會を開き時局對策、銃後運動其の他を協議するが縣から社會課松田重次氏が臨席する

赤井國婦分會旗

赤井國婦分會では同村々議共に隆昌擴張の一途を辿つてゐるが鮮魚のシーズンを以て會旗を新調したので来る九日午前九時から第二小學校で樹立式を舉行する

武田檢事の着任

平區新任檢事武田正二氏は来る八日午後二時五分分署越線で着任する

クズリ堂
資生堂
小名濱町
電話 四七

傷兵保護院
定院保傷
歌撰護兵
んさちを
うたがりあ

傷痕の勇士
護保兵傷
歌定撰院

一 お國のために
お手柄たてて
敵のとりでに
日の丸を
立てたを
お傷はいか
が
おさんおさん
ありがたう

一 雄たけび鋭く
血潮あびて
正義のいくさに
たてし勳
東亞躍進
平和のために
かちとき揚げたる
永遠のほまれ
皇國を護りの
ますらをなれ

二 戦地はどこよ
南か北か
開けば開けば
勇ましい
もつと
して下さいな
をさん
ありがたう

二 大地は明るし
君を迎ふ
職場は新し
君を迎ふ
おもひで輝く
白衣を脱ぎて
つゝは櫻の
やまこころ

三 お胸のうへの
記章を見れば
は試験の結果でなければ不
明だが万一そんな事實があら
るとすれば本郡漁業の死活の
問題で漁業家は寄々對策に
上

三 力と望みの
いのち懸けて
いさましたび
起てるすがた
前線決死の
勇武と意氣に
開けば道あり
道はひろし
銃後のちかひは
たゞ堅しや
四 皇軍征くとき
君は進み
建設の秋
君は奮ふ
大陸溼なき
地平の極み
誰かは忘れん
その日その名
御稜威を仰ぎて
いさもろごも

小名濱運送店擴張

仲仕、運轉手増員

同情週同打合會 平市の方面同情週同打合會は来る十九日市役所で

赤井國婦分會旗

赤井國婦分會では同村々議共
古市三郎氏の寄附三十圓を
以て會旗を新調したので
来る九日午前九時から第二
小學校で樹立式を舉行する

小名濱運送株式會社は日とも
共に隆昌擴張の一途を辿つ
てゐるが鮮魚のシーズンを
以て會旗を新調したので
来る九日午前九時から第二
小學校で樹立式を舉行する
が前會計支配人錦田氏應
務理事松村盛氏は昨日四日
召後を受けた鈴木會計と野
嶋の案内で小名濱港灣を視
察し現業中心となり一糸察
した

募集
印刷見習
常磐新聞社
門馬齒科
小名濱・中島

